



かわ ぐち ひろ ゆき
川 口 博 之

錯体化学実験施設錯体物性研究部門 助教授

平成12年5月に名古屋大学大学院理学研究科より転任しました。生まれは大阪です。6年程名古屋で勤めて、今回こちら岡崎にきて名古屋と三河の違いが少し解った様な気がします。専門は錯体化学ですが、分子研で研究できる機会を活かし新しい事に挑戦したいと思っています。今後の自分の核となる研究が行える様に努力していくつもりですので、よろしくお願いします。



か とう つよし
加 藤 毅

理論研究系分子基礎理論第二研究部門 非常勤研究員

千葉県出身。平成8年3月、東北大学大学院理学研究科博士課程後期修了。5月より台湾原子と分子科学研究所にて博士後研究員、同年10月より平成11年9月まで電子技術総合研究所特別研究員、10月より東北大学反応化学研究所助手。今年5月から分子研谷村研究室でお世話になっています。凝縮相中分子の量子ダイナミックスに関する研究を行っていく予定です。新しい環境で視野を広げていと考えております。よろしくお願いいたします。



なか お りゅう
中 尾 竜

錯体化学実験施設錯体触媒研究部門 受託研究員

平成7年3月名古屋市立大学大学院薬学研究科博士前期課程修了。同年4月ゼリア新薬工業(株)に入社。平成12年5月より魚住泰広教授の下で受託研究員としてお世話になっています。新規両親媒性固相担持遷移金属錯体の開発と主に水中での反応について研究しています。短い期間ですが、優れた環境の中、幅広い知識を身に付けたいと考えています。よろしくお願いします。





KOVALENKO, Andriy F.

理論研究系分子基礎理論第三研究部門 助手

Graduated from Lviv State University, Ukraine (1985). Fellow, Postgraduate student at Bogoliubov's Institute for Theoretical Physics, Kiev, Ukraine (1985-1992). Ph. D. in Theoretical and Mathematical Physics from Lviv State University (1993); advisor Dr. Sci., Prof. Myroslav Holovko. Fellowships of the International Scientific Foundation (1993, 1994). Postdoctoral position at the National Autonomous University of Mexico (1995-1996); working with Prof. Douglas Henderson. Scientific Researcher, Senior Scientific Researcher at the Institute for Condensed Matter Physics, Lviv, Ukraine (since 1993). Visiting Professor at the IMS in the group of Prof. Fumio Hirata (1997-1998). Fellowship of the Japanese Governmental Program "Research for the Future," IMS (1998-1999). Research Associate at the Chemistry Department of the University of Utah, USA (1999-2000). Joshu position in the group of Prof. Fumio Hirata, IMS (since 2000).

Scientific Interests:

Ion-molecular liquids and solutions. Chemically active liquids, polymers, colloids, and biomolecules in solutions. Liquid crystals. Adsorption of molecular liquids on crystalline surfaces and in porous media. Electronic and classical properties of electrode-molecular liquid interfaces. Charge transfer reactions in solutions. Chemical reactions in solutions under ambient and supercritical conditions.

Shallow impurities, Wannier excitons, and exciton-impurity complexes near semiconductor-insulator and semiconductor-electrolyte interfaces. Localized and extended states.



池 滝 慶 記

電子構造研究系電子状態動力学研究部門 民間共同研究員

(派遣元所属：オリンパス光学工業株式会社基礎技術研究所 主任研究員)

上智大学大学院理工学研究科修士課程修了。本来は電子衝突法の研究に従事していました。入社後は、カラープリンターの色再現法の研究や軟X線領域の光源・光学素子に関する研究開発などを行ってきました。現在、分子科学研究所では、2色レーザー光を用いた顕微鏡法の研究開発を行っております。皆様の多岐にわたるお知恵を拝借して、特色ある研究テーマに発展させたいと思いますので宜しくお願いいたします。



ね ぎし ゆう いち
根 岸 雄 一

電子構造研究系基礎電子化学研究部門 助手

慶応義塾大学理工学研究科博士課程中退、慶応大学理工学部化学科助手を経て、平成12年7月より現職。これまでは主に気相中半導体クラスターの電子状態に関する研究に従事してきました。現在はサイズ選択された金属超微粒子の合成及びその物性に関する研究を行っています。趣味はスポーツ観戦と海外旅行。スポーツの中でも陸上競技はかなりのマニアです（月刊陸上競技マガジンは15年前のものから全て揃えてもっています）。



おお しま やす ひろ
大 島 康 裕

電子構造研究系電子構造研究部門 客員助教授

現首都（圏）から前首都に移り住んではや5年、現在は周波数領域と実時間領域の各種レーザー分光法を併用して、気相クラスター（主に芳香族化合物を含むもの）の構造と反応性を研究しています。あまりの運動不足の解消を目指し、ごく時たま、思い出したように寺院巡りをかねて近場を散策したりしています。分子研の方々と協力して、1 + 1が2以上となるような研究を目指したいと思っています。



はつ い たか き
初 井 宇 記

極端紫外光研究系基礎光化学研究部門 助手

平成11年3月総合研究大学院大学博士課程修了、東京大学理学部、ウブサラ大学物理学科を経て8月より分子研にお世話になっています。これまでは金属錯体・有機伝導体の軟X線を使った分光法で研究してまいりました。これからは視野を広げて、分子の軟X線の吸収・脱励起過程の研究に携わっていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。



なか い ひで たか
中 井 英 隆

相関領域研究系相関分子科学第一研究部門 非常勤研究員

平成12年3月近畿大学大学院工学研究科博士後期課程を修了後、4月より特別協力研究員、10月からは非常勤研究員として渡辺芳人先生の研究室でお世話になっております。現在、「水の中での有機金属化学」という非常にクリーンな研究に携わっております。多くの方々と知り合い、様々なことを身につけたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。





しみず ゆいちろう
清水 雄一郎

関連領域研究系分子クラスター研究部門 非常勤研究員

平成11年3月に東北大学大学院理学研究科を修了し、学振特別研究員を経て、10月から笠井先生のもとで研究させていただくことになりました。分子研では特殊六極電場法による高密度の配向分子ビームや高密度配向クラスタービームを発生するビームラインを新たに試作し、空間的に配向した分子及びクラスターを用いて内殻励起分子の立体ダイナミクス研究を行う予定です。今後ともよろしくお願いいたします。



GRAAF, Harald

分子集団研究系分子集団動力学研究部門 非常勤研究員

I received my Diplom (Master) in 1997 and my Doctor degree (Ph.D.) in Physical Chemistry in 2000 at the Institute of Applied and Physical Chemistry, University of Bremen, Germany.

My research interests are the electrical and optical properties of organic molecules with semiconductor behavior and their technical applications.

At the IMS (Prof. Tada's group) I want to investigate the electrical properties of small areas of molecules as well as single molecules covalently bound on doped silicon.



MORÉ, Sam Dylan

極端紫外光科学研究系反応動力学研究部門 非常勤研究員

My name is Sam Dylan Moré and I have been actually already 2 years at the IMS, as a JSPS fellow in the group of Prof. M. Kamada. Since October 2000 I belong even directly to the IMS as a IMS fellow in the group of Prof. T. Urisu.

In this new group I will continue to work with semiconductors, and so remain in the field of surface science and connected to the UVSOR facility. On the other hand side, we are embarking on a new project and plan to build self-assembled layers (SAM) and superstructures of those with bio-molecules. I am looking forward to new exiting fields.

Apart from that I am living in Okazaki with my daughter, and learn both Shogi and Judo. As I have been here for a while already I hope I can be of some help to new visiting foreign colleagues, who do not know Okazaki yet.